

# ペコビーム

品名	外ビーム	品番	L5
		重量	16.7kg

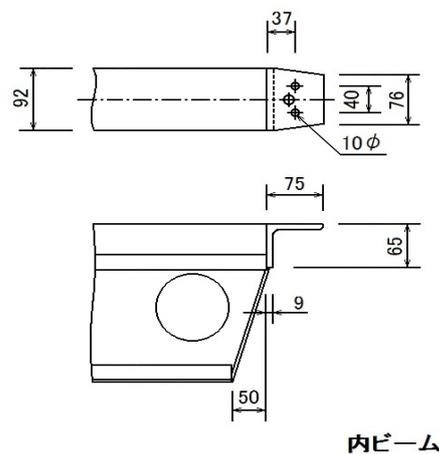
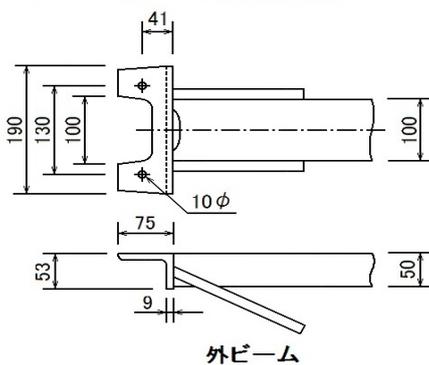
品名	外ビーム	品番	L7
		重量	20.4kg

品名	外ビーム		品番	L9
			重量	25.6kg

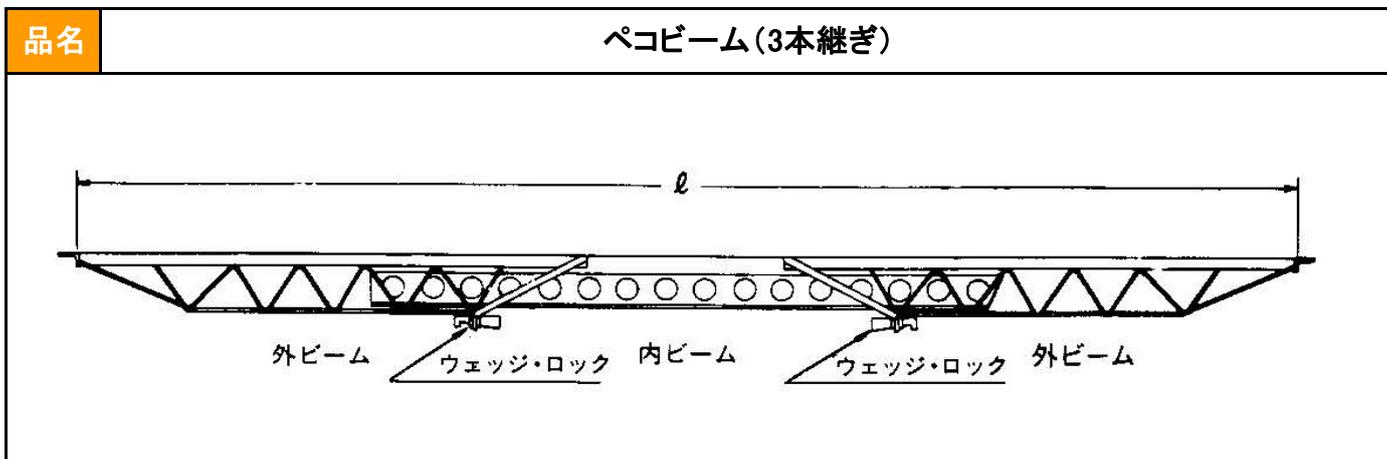
品名	内ビーム	品番	P5
		重量	14.4kg

品名	内ビーム	品番	P9
		重量	28.0kg

外ビーム・内ビームの爪部詳細

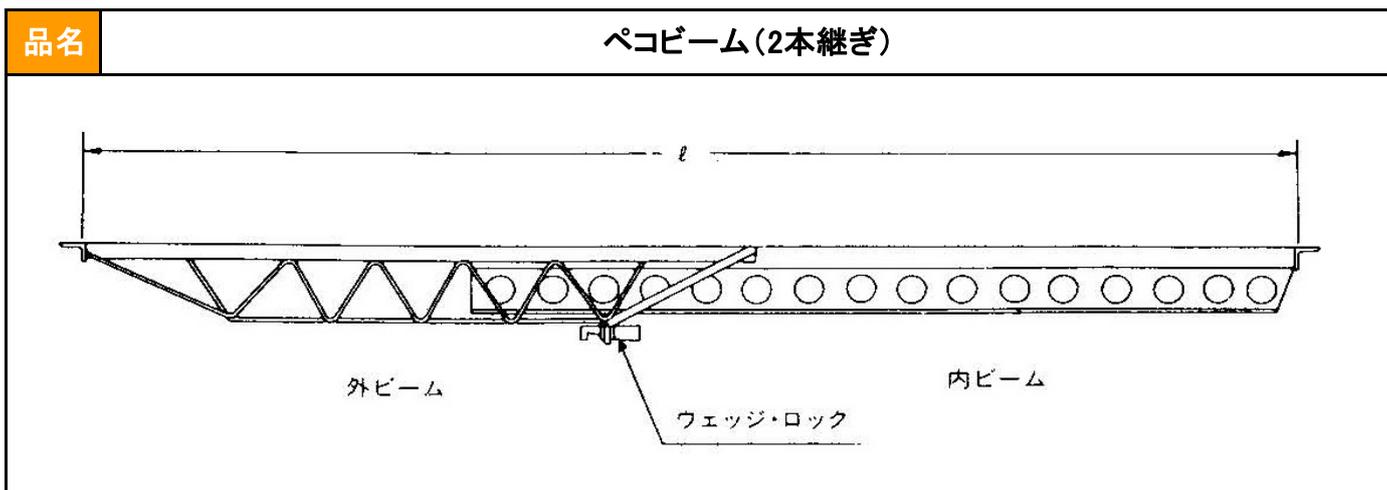


# ペコビーム



●組合せ使用表

内ビーム	外ビーム		L 調節長(mm)	重量(kg)
P5	L5	L5	3,720~4,160	47.8
	L5	L7	4,210~4,575	51.5
	L5	L9	4,850~5,215	56.7
	L7	L7	4,705~4,985	55.2
	L7	L9	5,345~5,625	60.4
	L9	L9	5,985~6,270	65.6
P9	L5	L5	3,720~5,585	61.4
	L5	L7	4,210~6,005	65.1
	L5	L9	4,850~6,645	70.3
	L7	L7	4,705~6,415	68.8
	L7	L9	5,345~7,055	74.0
	L9	L9	5,985~7,700	79.2



●組合せ使用表

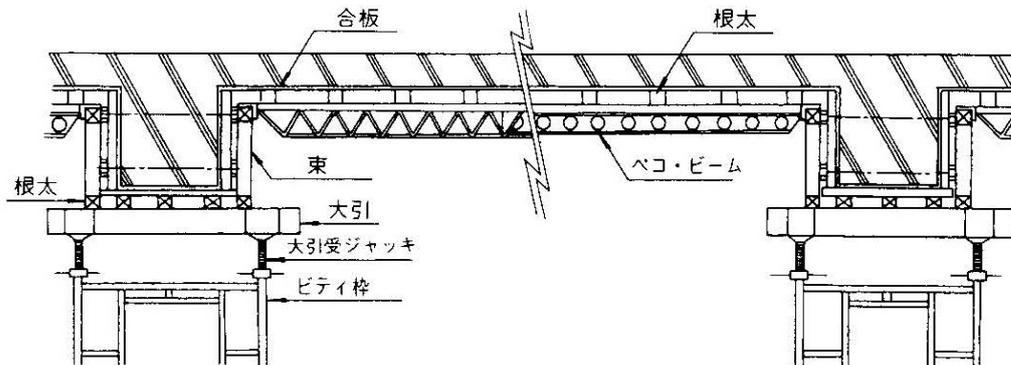
外ビーム	内ビーム	L 調節長(mm)	重量(kg)
L5	P5	1,870~2,830	31.1
	P9	2,885~4,260	44.7
L7	P5	2,360~3,245	34.8
	P9	2,885~4,675	48.4
L9	P5	3,005~3,865	40.0
	P9	3,005~5,315	53.6

# ペコビーム

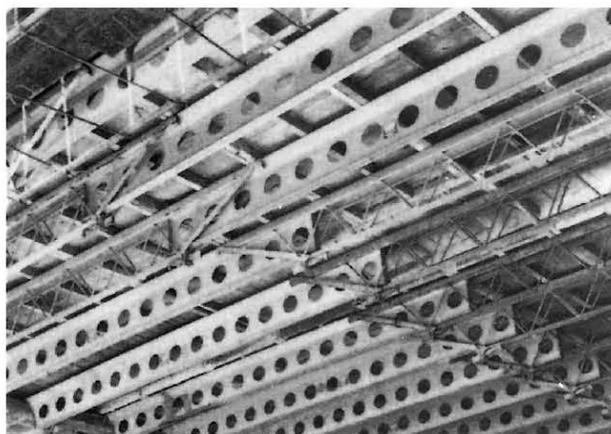
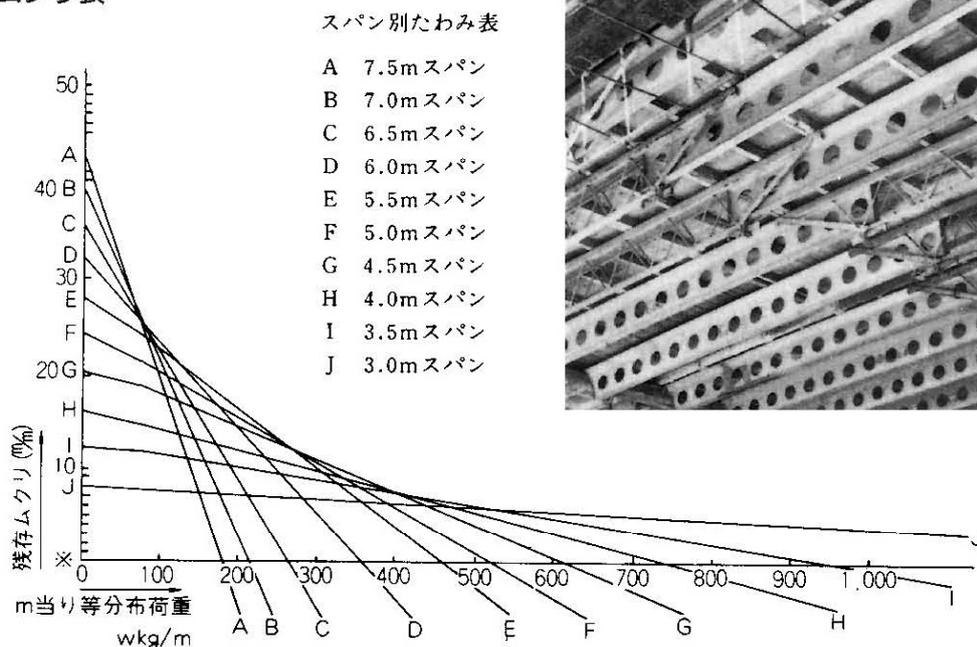
## 施工例

### 1. 一般的な梁間のスラブ打の例

下図は両側が梁で支えられるスラブの支保工工事で、その梁とスラブの打設工事として、梁受枠組支保工より束をたて、ペコ・ビームの爪を受けている施工例。



### 残存ムクリ表



ペコ・ビームには固有のムクリがつけてありますから、これを組み立てますとスパンに応じた所要のムクリができるようになっています。コンクリート荷重が加わりますと、ムクリは戻り水平になります。

※m当りの等分布荷重0の位でのムクリ量が各スパン毎の無負荷時の適正ムクリ量です。

注) 必ず許容曲げモーメント以内で使用して下さい。又、ペコ・ビームの中間にサポート等で、補強すると局部座屈及び横座屈が生じる為、絶対に中間でサポートしないで下さい。

### ●強度

ペコ・ビームは、コンクリート型枠水平支保梁材で、荷重は等分布荷重として最大許容曲げモーメント 13.7KN・m、ビーム端部の許容剪断力は24.5KNであります。(集中荷重の場合は30%以上低減してご使用下さい。その他特殊使用の場合は当社までご連絡下さい)